

『一心千里』

走っていけば、 見えてくる

永田 隆一



第6回

お世話になった多くの
中小企業の苦境を鑑み、

「くそっ！」と「怒り」
をつぶやいた私は、「怒

りANGER」から「船

の錨(いかり)ANCH

OR」を連想しました。

2003年の正月。

オムニ研究所の吉見武

夫社長に、起業について

の相談をした際、「永田、

2つだけアドバイスをす

る。会社名を早く決める

こと。会計事務所は良い

ところを採用すること」。

会計事務所は、オムニ

研究所採用企業をそのま

りました。

「怒り」が「錨」へと

連想した背景であり、

「アンカー・ビジネス・

システムズ」が会社名と

なりました。

《怒りを持つ》

様々なビジネス・シー

ンで、力強いリーダーシ

ンで、卒業予定者は、52万人

です。そのうち就職希望

者は、42万人。ところが、

昨年10月の時点で、就職

内定者は26万人。なんと、

16万人は就職が決まってい

企業経営・組織運営をさ

れていると感じることが

あります。

生きていくうえで、良

い意味での「怒り」を持

つことは、重要なことで

はないかと思っています。

《怒りの第1弾》

10年3月に大学・短大

と働く、多くの若い日本

人の友人がおり、その場

で、中国の若い友人へ携

帯電話をかけて、学生さ

んに直接話す機会をつく

って差し上げます。ただ

私は、学生の就職の相

談に乗る際に、「中国か

ベトナムへ渡りなさい。

多少、給料は安いが、日

系企業がどんどん進出し

ており、国としての成長

力は、目をみはるものが

あり、20代であれば、語

学習得も容易。将来にた

いしても大きな夢を描け

ます」と応えます。

中国で澆刺(はつらつ)

小において、大手企業は

財務体質の強化を図り、

株式市場において、増資

ところが、多くの中小

企業では、良い技術や、

ビジネスモデルを持って

いて、本当に資金需要が

あるのに、資金を集める

ことができません。

リスクマネーの担い手

の一つであります、ベン

チャー・キャピタルは、

投資家から、10年で2・

5倍以上にする約束で資

金を集めて、企業に出資

いたします。

しかし、中小企業は信

用度が低く、投資対象に

市場は、起業後、平均7年

程度で上場しています。

それに対して日本のジャ

スタックでは、起業後、

平均30年強で上場。この

対比は、鮮明でありま

す。

また、最近の中国のベ

ンチャー企業への投資

は、感覚的に金額が1桁

多い印象があります。特

に北京では、政府がまと

まったお金を、ポンと出

します。企業は、その資

金で土地を買い、ビルを

「怒り」を持つしかし、 飛び立ちかねつ鳥にしあらねば

「世の中を 憂(うれ)

しとやさしと思えども

飛び立ちかねつ 鳥にし

あらねば」

1300年前に万葉集

で、山上憶良(やまのう

えのおくら)が、詠みま

した。「社会がづらい、

うらめしいと思ったとこ

ろで、飛んで逃げるわけ

にもいかない、鳥じゃな

いから」(御意)

(毎月掲載)

た。

「怒り」の対象は、政

治であったり、経済であ

ったり、業界のシステム

であったりです。その怒

りをエネルギーとして、

時間を受験勉強に費やし

た。

「こんな日本に誰がし

た」強い怒りを感じま

す。

高い授業料を払い続け

た親御さん。若い貴重な

時間を受験勉強に費やし

た。

「怒り」の怒りを感じま

す。

高い授業料を払い続け

た親御さん。若い貴重な

時間を受験勉強に費やし

た。

「こんな日本に誰がし

た」強い怒りを感じま

す。

高い授業料を払い続け

た。